2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社ＬＴＶ－Ｘ　　上場取引所　名
コード番号　　655A　　ＵＲＬ　https://ltv-x.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）野口　学夫
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）柴田　喬英　　ＴＥＬ　03（6665）8245

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無（決算説明動画配信）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	248	－	90	－	91	－	59	－
2026年３月期中間期	－	－	－	－	－	－	－	－

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	28.30	－
2026年３月期中間期	－	－

（注）１．2026年３月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2026年３月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2027年３月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。
２．当社は、2026年11月５日に名古屋証券取引所ネクスト市場に上場したため、潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	513	451	87.8
2026年３月期	460	391	84.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　451百万円　2026年３月期　391百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	526	18.5	175	19.8	176	19.6	118	21.7	52.08

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
２．１株当たり当期純利益については、公募増資分（367,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大105,000株）を考慮しておりません。

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,117,000株	2026年３月期	2,117,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	－株	2026年３月期	－株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,117,000株	2026年３月期中間期	－株

（注）2026年３月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2026年３月期中間期の期中平均株式数は記載しておりません。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付３ページ「１．経営成績等の概況（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況 …… 2
（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（重要な後発事象） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

あらゆる情報がデジタル化されビッグデータ化する中で、当社は「世の中の課題をクラウドで解決する」というビジョンのもと、先進的なテクノロジー活用によるデータを可視化する技術やノウハウを武器に、データ活用による企業の売上高拡大、業務効率化や省力化、意思決定を支援するサービスを展開しております。

当中間会計期間においては、企業のデジタル化・省力化へのシフトや働き方の見直しに伴う業務の自動化・効率化などへの取り組みが引き続き続いており、それらを支援するソフトウェアについては高い需要が維持されております。特に当社が手掛けるＳａａＳ型クラウドサービスは、イニシャルコストを抑えて短期での導入が可能であることや、システム更新などの運用負荷を軽減できることから導入へのハードルが低く、企業規模や業種を問わず投資意欲が高く、市場成長をけん引しております。

当社では、成熟期にあるプロダクト「ＬＴＶ－Ｌａｂ」では高収益・高成長を確立しながら、「ＬＴＶ－Ｓａｌｏｎ・わくわく店舗」「Ｒｉｇｈｔ－Ｔｉｍｅ」では安定した売上を継続し、導入期から成長期に差し掛かった「ＬＴＶ－Ｚａｉｋｏ」「ふるさとＬａｂ」は年を追うごとに順調に成長を続けております。またシード期からスタートアップ期のプロダクトへの投資・開発も並行して進めております。いずれも継続収益が大部分を占めるＳａａｓ型サービスであり、それぞれの事業による収益が上乗せされる形で成長を継続しております。高収益の安定事業、成長期待の高い発展途上の事業、成長分野向けの新プロダクト投入による複数プロダクトからの継続収入の組み合わせにより、全社ベースで引き続き高い成長率と利益率を同時に実現しております。

新規顧客を獲得するための活動としては、コンテンツ制作によるＳＥＯ等によるオンラインマーケティング、Ｗｅｂセミナー等のイベントへの参加により、当社サービスに関心をもつ顧客を集客し、導入を検討する企業にはサービス説明やデモを実施しながら受注を獲得してまいりました。また販売パートナーとの協働（セミナー共催等）も活用し、潜在的な顧客に対して積極的に提案を行うことで、新たな顧客層の開拓を推進しております。

以上の取り組みの結果、当中間会計期間における売上高は248,002千円、営業利益は90,541千円、経常利益は91,093千円、中間純利益は59,921千円となっております。

なお、当社はクラウドシステムの開発・運営事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は450,655千円で、前事業年度末に比べ53,749千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が50,320千円、その他に含まれる前払費用が2,650千円、売掛金が588千円増加したことによるものであります。

固定資産は63,226千円となり、前事業年度末に比べ493千円減少いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における負債合計は62,791千円で、前事業年度末に比べ6,665千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が7,887千円、その他に含まれる未払消費税等が2,025千円減少したことによるものです。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は451,090千円で、前事業年度末に比べ59,921千円増加いたしました。これは利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は87.8%（前事業年度末は84.9%）となりました。

（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、402,009千円と前事業年度末と比べ50,320千円の増加となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、58,205千円となりました。その主な増加要因は、税引前中間純利益の計上

91,093千円、減価償却費の計上8,928千円、主な減少要因は法人税等の支払額38,384千円、売上債権の増加額588千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、7,885千円となりました。その主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出7,464千円であります。

（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想に関しましては、2026年11月５日付「名古屋証券取引所ネクスト市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	351,688	402,009
売掛金	42,299	42,888
その他	3,116	5,958
貸倒引当金	△197	△200
流動資産合計	396,906	450,655
固定資産		
有形固定資産	9,616	8,546
無形固定資産		
ソフトウエア	40,840	42,448
無形固定資産合計	40,840	42,448
投資その他の資産	13,262	12,231
固定資産合計	63,719	63,226
資産合計	460,625	513,881
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,331	4,198
未払法人税等	38,377	30,490
その他	26,747	28,102
流動負債合計	69,456	62,791
負債合計	69,456	62,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	98,472	98,472
利益剰余金	282,696	342,617
株主資本合計	391,169	451,090
純資産合計	391,169	451,090
負債純資産合計	460,625	513,881

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	248,002
売上原価	37,937
売上総利益	210,065
販売費及び一般管理費	119,524
営業利益	90,541
営業外収益	
受取利息	511
その他	46
営業外収益合計	558
営業外費用	
為替差損	5
営業外費用合計	5
経常利益	91,093
税引前中間純利益	91,093
法人税、住民税及び事業税	30,497
法人税等調整額	675
法人税等合計	31,172
中間純利益	59,921

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	91,093
減価償却費	8,928
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2
受取利息	△511
為替差損益（△は益）	5
売上債権の増減額（△は増加）	△588
仕入債務の増減額（△は減少）	△133
その他	△2,717
小計	96,079
利息の受取額	511
法人税等の支払額	△38,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△421
無形固定資産の取得による支出	△7,464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	50,320
現金及び現金同等物の期首残高	351,688
現金及び現金同等物の中間期末残高	402,009

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、クラウドシステムの開発・運営事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（一般募集による新株式の発行）

当社は、2026年11月５日付で名古屋証券取引所ネクスト市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2026年９月30日及び2026年10月15日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2026年11月４日に払込が完了いたしました。

① 募集方法　：一般募集（ブックビルディング方式による募集）
② 発行する株式の種類及び数　：普通株式　367,000株
③ 発行価格　：１株につき　570.0円

一般募集はこの価格にて行いました。

④ 引受価額　：１株につき　524.4円

この価額は当社が引受人より１株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

⑤ 払込金額　：１株につき　467.5円

この金額は会社法上の払込金額であり、2026年10月15日開催の取締役会において決定された金額であります。

⑥ 資本組入額　：１株につき　262.2円
⑦ 発行価格の総額　：　209,190千円
⑧ 払込金額の総額　：　192,454千円
⑨ 資本組入額の総額　：　96,227千円
⑩ 払込期日　：2026年11月４日
⑪ 資金の使途　：プロダクトラインナップの拡充を加速させるための「システム開発費」及び「システム運用関連費用」、顧客支援体制をより強化するための「採用関連投資」、および認知度向上と新たな顧客開拓のための「マーケティング費用」に充当する予定であります。

（第三者割当による新株式の発行）

当社は、2026年11月５日付で名古屋証券取引所ネクスト市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2026年９月30日及び2026年10月15日開催の取締役会において、Ｊトラストグローバル証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議しております。

① 募集方法　：第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）
② 発行する株式の種類及び数　：普通株式　105,000株
③ 割当価格　：１株につき　524.4円
④ 払込金額　：１株につき　467.5円

この金額は会社法上の払込金額であり、2026年10月15日開催の取締役会において決定された金額であります。

⑤ 資本組入額　：１株につき　262.2円
⑥ 割当価格の総額　：　55,062千円（上限）
⑦ 資本組入額の総額　：　27,531千円（上限）
⑧ 払込期日　：2026年12月７日
⑨ 割当先　：Ｊトラストグローバル証券株式会社
⑩ 資金の使途　：「一般募集による新株式の発行 ⑪ 資金の使途」と同一であります。